



# 山川中学校だより

自律 親和 創造

第4号

令和7年7月18日（金）

文責：谷 陽子

## ○1学期を振り返って

今年は例年よりも早く梅雨が明け、連日のように厳しい暑さが続いています。「暑い、暑い」と感じているうちに、気がつけば1学期も終わりを迎えました。

4月の始業式・入学式から今日までの約3か月間、生徒たちはそれぞれの学年や立場で多くの学びや経験を積み、日々の生活の中で確かな成長を見せてくれました。

1年生は、中学校生活のスタートとして、授業や部活動に加え、大阪・関西万博への遠足など、初めての体験を数多く重ねてきました。新しい環境に戸惑いながらも、少しずつ慣れ、自分を高めようとする姿勢が随所に見られました。

2年生は、何といたっても沖縄への修学旅行が大きな節目となったことでしょう。事前学習を通じて平和について深く考え、現地では、空気や語られる想いにふれ、全身で感じ取ったことを胸に刻みました。仲間とともに過ごした時間も、心に残るかけがえのない思い出となったことと思います。

3年生は、義務教育の最終学年としての自覚が芽生え、進路に向けた準備がいよいよ本格的に動き始めています。日々の生活や学習に対する姿勢にも、確かな変化と成長が見られ、多くの教職員が「昨年度よりも頼もしくなった」と感じています。進路選択に向けた取り組みも、これからさらに深まっていくことでしょう。焦らず、一步一步、確実に前へ進んでいってほしいと願っています。

このように、生徒一人ひとりが、それぞれの場面で成長しようと努力する姿は、私たち教職員にとって大きな励みとなっています。そして、こうした日々の積み重ねこそが、私たちが掲げる教育目標「心身ともに健全で、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな創造的能力をもった生徒の育成」の実現に向けた確かな歩みであると感じています。

生徒会役員が中心となって取り組んでいるあいさつ運動や専門委員会の活動、6月の人権意見発表会や部活動の総体など、学年を超えた学びや協働の機会も多くありました。それぞれの場面で、生徒たちは互いに支え合い、自分の思いや考えを自らの言葉で表現しようとする姿を見せてくれました。

こうした充実した1学期を支えてくださいました保護者の皆さま、そして地域の皆さまには、心より感謝申し上げます。日々の見守りや励まし、学校行事へのご協力など、皆さまの温かな支えが、生徒たちにとって安心と意欲の源となっています。

2学期は、山中祭（文化祭）や体育祭、合唱フェスティバルなどの行事に加え、2年生の職場体験学習、3年生の進路選択と、学びの節目となる機会がいくつも控えています。引き続き、生徒たちの成長を共に支えていただき、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

学校の様子を紹介します。

### 6月13日（金） 校内人権意見発表会



各クラスから代表者1名が、全校生徒の前で意見を発表しました。いじめ、偏見、平和などのテーマから、自分自身の言動を振り返り、どうしたら人権が尊重されるのか、自分の言葉で届けてくれました。意見発表の後には、全校生徒による意見交換会も行われました。

人権について深く考えるよい学びとなりました。

### 6月23日（月） 情報モラル教室（2年生）



公益財団法人とくしま産業振興機構の方を講師に迎え、情報モラル教室を行いました。SNSは思いやりと責任をもって使うこと、一度発信した情報は消せないことを学びました。

投稿前に立ち止まり、よく考えてから発信することの大切さを実感しました。

### 6月30日（月） 租税教室（3年生）



3年生の社会科の授業の一環として、公益社団法人阿波麻植法人会の方をお招きし、租税教室を行いました。税金の種類や使い道、もし税金がなかったら社会はどのようなかなど、具体的にわかりやすく教えていただきました。

### 7月9日（水） AED心肺蘇生法講習会



中央広域連合西消防署の方を講師にお招きし、AEDの使い方や心肺蘇生法について学びました。各教室で人形を使った実習も行い、具体的な手順を教えてくださいました。

AEDは本校の正面玄関に設置されています。使用する機会がないのが一番ですが、いざという時にためらわず行動できるよう、日頃から備えておくことが大切です。

### 7月14日（月） いのちの授業（1年生）



つながっていく命の大切さ、温かさについて助産師さんに講話をしていただきました。胎児人形の抱っこ体験や妊婦疑似体験をさせていただき、命の重さを実感することができました。